

# ナミビア、ダマラランドにおける自然環境と人々の生活の関わり

平成 18 年入学  
派遣先国：ナミビア  
手代木 功基

キーワード：乾燥域，植生，地形，放牧活動，ダマラ

## 対象とする問題の概要

乾燥域は植物にとって非常に厳しい環境である。そのため乾燥域では、日本のような温帯域よりも環境条件と植生構造の関係がより明確に把握できる。また乾燥域は高山域と並び、わずかな環境変化が植生に大きな影響を与える地域である。このように乾燥域の植生は特徴的で興味深く、温暖化をはじめとする地球環境問題が植生に与える影響を知る上でも重要である。それと同時に、乾燥域の一部は人々が生活する舞台となっている。乾燥域に暮らす人々は、主に牧畜活動を行いながらその地域の植生を利用しており、乾燥域における植生と人とのつながりは深いといえる。

近年気候環境変化が顕著であり、それによって植生変化も生じている。また人為的には植生破壊が気候変化にも影響を及ぼしているといわれている。このような環境変化のもとに「自然－人間」の相互関係を明確化することは重要であると考えられる。

## 研究目的

本研究は、自然地理学的手法と人類学的手法の双方を用いて地域の現状や問題点を明らかにする。複合的なアプローチ方法をとることによって、今までの研究とは少し違った視点から自然と人間の関わり合いについて考えていくことを目指す。具体的には地域における植生分布を詳しく記載し、環境条件も同時に調査することによって、その場所の植生構造がどのような条件で成立しているのかを明らかにする。そしてそのようにして成立している地域全体の植生構造を人々はどのように認識し利用しているかについてや、その他の自然環境との関わり合いについてを、現地の人々との長期にわたる共同生活のもとで明らかにしていく。以上のような方法を用いて、植生と人との関係だけでなく、その他の環境条件をも含めた自然－人間関係を包括的に捉えて理解することを目的とする。

## フィールドワークから得られた知見について

調査はナミビア中央部の Khorixas 地域、Renosterkop 村で行った(写真 1)。この半乾燥域の小さな村にはダマラの人々が主に住み、定住して牧畜業で生計を立てている。周辺の植生はモパネサバンナと呼ばれ、多くの場所でマメ科のモパネ(*Colophospermum mopane*) が優占し



写真1 調査地の全景

ている。蝶の形をした美しい葉をつけるモパネ(写真2)は乾燥に強く、薪炭材や建材に使われるなど、人々にとっては非常に重要な樹木である。

調査地は山間部に位置し季節河川も流れていることから、地形は変化に富んでいる。調査より植生は地形に大きく影響を受けて成立しているということが明らかとなった。例えば季節河川沿いと山頂では植生は全く違っている。出現する種が違うことに加えて、優占種であるモパネの樹高や樹形、幹の太さなどにも違いがみられる。また地形とかかわりの深い地質や、地表面構成物質なども植生を規定する大きな要因であることもわかった。

このような場所ごとに異なっている植生や地形を人々ははっきりと認識し、それらの環境条件に基づいてヤギの放牧活動を行っている(写真3)。村の人々はヤギの好きな植物種が多く存在している場所を知っているといい、好んでそこを放牧ルートとする。集落の東北東方向約5km先に位置するその場所は傍目では他の場所と同じような景観に見えるが、実際に植生調査を行うと確かに他の場所よりもヤギが好む種の生育密度が高いことがわかった。しかしながら年中そのルートに行くわけではなく、例えば乾季はその場所の植物が少なくなってしまうので、ルートは日ごとにいろいろなところへ行くような形態となる。また地形の条件も放牧ルートには大きく関わっており、人にとって登るのがつらい山岳地域には、いくら好きな植物種がたくさんあろうとも行くことはなかった。ある場所の自然環境は様々な要素が絡まりあって成立しており、その中で人々は多様な自然環境を巧みに利用していることが今回の調査で実感できた。

#### 今後の展開・反省点

今回の調査では主に植生に焦点を絞った調査を中心に行ったが、今後は土壌調査や気候観測など他の自然環境の調査もひろく行って、より詳しい自然-人間関係を明らかにしていきたい。同時に人々の生活についてももっと広範に調べていく必要がある。調査地は白人による大土地所有地域に近く、その影響を受けて生業・生活が古くから変化してきた地域である。今回の調査では簡単な聞き取りにとどまっているので、今後はそれらの歴史についても詳細に記述していきたい。現代化の影響を受けながらも自然を常に利用するこのような場所における人々と自然の関係を調査することは、ナミビア、そしてアフリカ、ひいては地球全体のこれからの自然との付き合い方を考えていくのに大事であると私は考えている。



写真2 *Colophospermum mopane*



写真3 ヤギの放牧風景